



HP



Instagram

佐賀県立唐津青翔高等学校 佐賀県東松浦郡玄海町大字新田1809番地11

振興会面接指導

9月6日(金)に就職試験を控えた3年生に対して、教育振興会役員の方に面接指導をしていただきました。教育振興会の方との面接指導を行うことで、実践的な対応力を身に付けさせるとともに、コミュニケーション力の向上を図ることを目的とし実施をしました。指導では模擬面接が中心となり、教育振興会の方々が面接官役を務めていただきました。生徒たちは実際の就職面接を想定して面接に臨み、終了後には個別にフィードバックが行われ、受け答えの内容や態度、話し方について具体的なアドバイスをいただきました。指導をしてくださった教育振興会の方々は、豊富な社会経験をもとに実践的かつ細かい指摘をしてくださり、生徒たちも真剣に耳を傾けていました。生徒たちからは、「緊張したが、実際にやってみることで自分の弱点が分かった」「フィードバックが具体的で改善点が良く分かった」という感想が聞かれました。今回の面接指導を通して、生徒たちは実際の面接に向けて自信をつけることができました。お忙しい中ご協力いただいた教育振興会の方々に感謝し、今後もこのような地域との連携を活かした取り組みを続けていきたいと思います。



加唐島小中学生合同授業

9月12日(木)に加唐島小・中学校の生徒との合同授業が行われ、本校2, 3年生韓国文化系列の授業に参加していただきました。2年生の授業ではグループになり粘土を使ってはにわを作成しました。本校生徒が小中学生に対して優しく教えたり、一緒に作ってあげたりする様子が多く見られました。45分という短い時間でしたが、1人1つずつはにわを作り上げ、持って帰ることができました。3年生の授業では韓国語の学習と「コンギノリ」というおはじきのようなものを使ったゲームを行いました。3年生も2年生と同様に小中学生に対して優しく接し、一緒に楽しく授業やゲームに取り組んでいました。参加した小中学生からは「お兄さん、お姉さんに優しく教えてもらってうれしかった」「アニョハセヨという韓国語を覚えることができた」などの感想が寄せられました。今回の合同授業で高校生にとっても教える側の難しさや楽しさを感じてもらえる良い機会になりました。今後もこのような機会を通じて、生徒たちが互いに成長し地域とのつながりを深めていきたいと考えています。



学校運営協議会

9月27日(金)に地域の方々、本校職員、本校生徒が集まり校則について考える熟議が行われました。この熟議は、校則の意義や現代社会における適応率を再評価し、より良い学校生活を目指すために、地域と学校が協力し合う場として企画されました。会は地域の方々、本校職員、本校生徒が混ざったグループを3つ作成し、ブレインストーミング形式で行われました。各グループで校則の問題点や改善点、メリット、デメリットなどの様々な意見が出ました。グループで出た意見をまとめた後、生徒を中心に発表が行われ、生徒は多くの大人に囲まれる中でも堂々とした発表ができていました。生徒は「大人たちの中に入って話し合いや意見を言うなど貴重な経験をすることができよかった」「発表の際に、緊張したが最後までやり遂げることができよかった」など感想を話していました。今回の会を通して、校則について多様な視点から考え直すことができました。生徒の意見や地域の声を反映させ、今後の校則の見直しに向け議論を重ねていきたいと考えております。今後もこのような機会を設け、学校と地域が協力しより良い学びの場を作っていけるように努めてまいります。



環境部 理科作品展で県特選

令和6年度第74回佐賀県児童生徒理科作品展にて、本校環境部の生徒たちが出品した「貝の標本から、地域のすばらしさに気づく！」が特選「読売新聞社賞」を受賞しました。

有浦川河口を中心として採集できる貝を集めて、同定、分類した作品です。研究は5年前から代々継続しており、現在154種類の標本を分類しています。10月5日(土)に宇宙科学館で行われた表彰式には、代表として1年寺田綾華さん(玄海みらい学園出身)と1年濱崎紅葉さん(鏡中学校出身)が出席しました。夏休みから長い時間をかけて作り上げた作品です。宇宙科学館に展示された標本を、来場者が見学される姿を見て、2人とも感激していました。今後も身近な生き物に興味を持ち、この地域の素晴らしさを伝えていきたいと思います。

